

2015年 早春 有機質資材の効果-1

2015年 4月 林ツク 高橋農場

農文協の雑誌「現代農業」2010年1月号。たまたま、勧誘員が置いていった雑誌。62ページに美幌町の大林さんの事例記事が掲載されていた。しかも、大林さんは同じ農事組合の人。

その晩秋から、早速小規模な試験を始め、年々拡大して現在も試験中。

従来の指導・方法では、米糠の施用は、雪が降る前に散布して浅くロータリーを掛けて土に混ぜておく。醗酵鶏糞は、春に雪が解けて畑に入れるようになってから散布していました。

現在取り入れている方法としては、米糠は、根雪の頃、雪が10cmくらいある上に散布します。醗酵鶏糞は、根雪の頃を目標に散布します。また、融雪剤として2月・3月等に散布します。醗酵鶏糞の代わりに他の有機質肥料でも同様に考えています。

☆ 各畑の有機質資材の施用状況

A B C D畑は慣行農法、J A S畑は自然農法で、すべての圃場で2012年より不耕起。

2014年	A畑	B畑	C畑	D畑	J A S畑
前作物	小麦 穀すき込み	ビート	ビート	小麦 穀すき込み	ジャガイモ 大豆
8/1	堆肥 2t/反				
8/2	後作緑肥			後作緑肥	
9/20	緑肥すき込み				
10/1・2					堆肥 3t/反
10/26				緑肥粉砕	
10/下旬				堆肥 2t/反 土壌改良	
11/15		堆肥 2t/反			
11/18			醗酵鶏糞 90kg/反 朝積雪 5mm		
11/19	醗酵鶏糞 90kg/ 反 朝積雪 1cm				
12/16 夜根雪		米糠 53kg/反	米糠 53kg/反		
12/23,25		米糠 75kg/反			
12/26,28					米糠 109kg/反
2015年	A畑	B畑	C畑	D畑	J A S畑
3/17		わさび堆肥			
3/18			醗酵鶏糞 13kg/反		
3/19	苦土タンカル 30kg/反	わさび堆肥			
3/20				醗酵鶏糞 13kg/反	醗酵鶏糞 13kg/反

※ 4月 8日 各畑8～9割雪解け完了

2015年 早春 有機質資材の効果-2

2015年 4月 ホ-ツ 高橋農場

3月 6日頃から暖かい傾向が始まり、25日に吹雪ましたが融雪が進み、4月6日には急速に雪解けが進んでいます。1ヶ月間も暖かく天気があまり崩れないのは??

この春、毛カビの繁殖の強さの違いはありますが全ての圃場で毛カビの発生を確認しました。

【 A畑 】 4月 4日



小麦跡で麦稈は収穫直後にストローチョッパーで刻んで堆肥を散布してからすき込みました。昨年11月19日に醗酵鶏糞90kg/反散布。散布時の積雪は朝に1cmくらいでしたが、直ぐに消えてしまいました。

【 C畑 】 醗酵鶏糞 + 粒状米糠

醗 酵 鶏 糞



4月 5日



4月 5日

11月18日、醗酵鶏糞を反当たり90kg散布。さらに左側の写真は、食用芋を作付け予定の為、12月16日に粒状米糠を機械で散布。

2015年 早春 有機質資材の効果-3

2015年 4月 ホ-ツ 高橋農場
米糠 手 散 布

【 B畑 】 米糠 機 械 散 布



12月16日 ライムソワーで米糠を散布
この夜から大荒れ、根雪になる
左土手側トラクター片道は、粒状米糠を散布

12月23～25日 手で米糠を散布
積雪50cm程 トラクター入れず



4月 5日

4月 5日



4月 5日 地面でカビが繁殖

4月 5日 雪上でカビが繁殖

この畑は今年、食用ジャガイモを作付けするので米糠を全面に散布しました。
そうか病を減らして、作物の肌を綺麗にする効果を期待しています。

2015年 早春 有機質資材の効果-4

2015年 4月 ホ-ツ 高橋農場

【 D畑 】 4月 6日

堆肥散布のみ



8月に小麦収穫後、麦稈をストローチョッパーで粉碎後、畑にすき込みました。その後、後作緑肥のえん麦を栽培、10月にストローチョッパーで粉碎。堆肥を散布しました。

この畑には、根雪前に、米糠・醗酵鶏糞等の有機質資材を入れていませんが、なぜか毛カビが発生しました。堆肥による効果なのでしょうか？

【 JAS畑 】 4月 6日



12月26～28日に手で米糠を散布。3月20日に醗酵鶏糞を機械で散布。米糠を散布した時は、すでに積雪50cmくらいになっていたため雪の上で米糠を餌としてカビが発生。

2015年 早春 有機質資材の効果-5

2015年 4月 ホ-ツ 高橋農場

【 B畑 と 堆肥場 】



—堆肥を散布したら毛カビが発生するのか?—

左の写真で、左上はB畑、右下は堆肥場。
B畑には、毛カビが発生しているが、
堆肥場には発生していません。

【 うさぎ の ウンコ 】



—有機質の分解 と カビの発生—

醗酵鶏糞は、根雪前に散布したものは黒く変色してカビが発生している。が、3月に散布したものは、カビが付いていない。

JAS畑の隅にあった野ウサギの糞。
黒く変色しているもの程分解が進んでいるがカビはまだ付いていない。

【 土手に発生した 自然界のカビ 】



2m土手近い高さの土手の雪解けの際に発生した毛カビ。野生のアスパラや雑草の残渣が折り重なっている